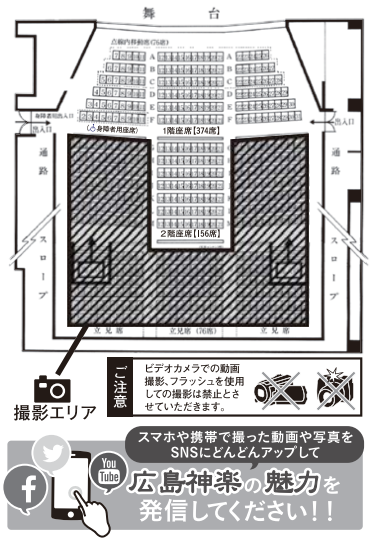
「広島神楽」定期公演へようこそ！

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
(1)座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
(2)上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
(3)お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険**な場合がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
(4)撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



9月21日のタイムスケジュール

出演：横谷神楽団（三次市）
19:00～開演
19:05～第一幕『源頼政』
（およそ40分）
～幕間（休憩）～
20:00～第二幕『山姥』
（およそ40分）

20:45～記念撮影会
衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
（舞台へは靴を脱いでお上がりください。）

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

横谷神楽団（よこだにかぐらだん）プロフィール ～三次市布野町～

私たち横谷神楽団は、地域の神楽愛好者が昭和57年7月の地元の行事での神楽発表を契機に、昭和58年春に横谷神楽クラブとして組織的な活動を始めました。その後「横谷の神楽として子や孫に自信を持って伝承できる神楽団づくり」を目標に20名の団員で神楽団として活動を開始しました。各地でのお祭り、神楽大会、イベントなど年間およそ40回の公演を重ね、東京都や愛知県など県外の神社でも奉納させていただきました。

また、平成2年からは横谷子ども神楽クラブへの指導も行い、現在は団員29名で活躍しております。神楽の出来る環境に感謝し、初心を忘れることなく精進して参りますので、今後ともご指導またご声援の程よろしくお願いいたします。

第一幕『源頼政』（みなもとのよりまさ）

平安時代、毎夜丑の刻（午前二時）になると京都三条ヶ森の空に黒雲が立ち昇り、この世のものとは思えない動物が怪異なる声で鳴くのでした。

時を同じくして帝の近衛天皇は、原因不明の魔物に取り付かれたように毎夜うめき悩まされていました。

そこで、弓の名人源頼政は帝の勅命を受け、郎党猪早太を引き連れ頭が猿、身は狸、手足は虎、尾は蛇なる容姿の怪物「鵺（ぬえ）」を退治する物語です。

※上演順が入れ替わっております。あらかじめご了承ください。

【出演】

大太鼓 … 仲屋 伸治	源頼政 … 野村 悠貴大	猿 … 泉 龍生子	猿 … 伊藤 大莉
小太鼓 … 伊藤 勇治	猪早太 … 矢上 良太子	猿 … 片地 ことの子	猿 … 石田 壮太
手打鉦 … 長谷川 麻衣	鵺 … 霜江 勇弥子	猿 … 片地 穂都美子	猿 … 石田 涼太
笛 … 仲屋 静香	大猿 … 井上 広志子	猿 … 伊藤 柚姫子	猿 … 山本 朔弥

第二幕『山姥』（やまうば）

越後の国・上路（あげろ）の山に、山賊退治という勅命を受けた源頼光と渡辺綱（わたなべのつな）は迷い込みます。山中のただ一つの灯を見つけ、一夜の宿を願います。しかしこの家に暮らす母と子は、都を追われ世を呪い、人々を恨み、上路の山の山賊となって悪行を重ねる山姥とその子・怪童丸（かいどうまる）でした。

山姥と怪童丸は、武勇の誉れ高き頼光と知らず悪事を企みますが、戦いに敗れ、山姥は怪童丸を見捨てて逃げます。しかし、すぐ立ち戻り我が身の上を明かし、母の一命に替えて怪童丸の命乞いをします。頼光はこの母子の運命を不憫（ふびん）に思い命を助け、怪童丸を家来として都へ連れ帰るという物語です。怪童丸は、後に坂田金時（さかたのきんとき）と名乗り、頼光の四天王の一人となります。

【出演】

大太鼓 … 野村 悠貴	源頼光 … 椙谷 裕介	山姥 … 金子 慶一	
小太鼓 … 仲屋 伸治	渡辺綱 … 矢上 正太	怪童丸 … 霜江 勇弥	
手打鉦 … 伊藤 勇治			
笛 … 長谷川 麻衣			

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。